

飯山市教育懇談会（岡山小学校区）発言要旨

平成25年6月27日（木）岡山地区活性化センター

- ・平成27年度は入学者0名、平成26年度は岡山小開校40周年の節目の年。
平成27年度から、しらかば保育園・岡山小学校を戸狩保育園・戸狩小学校との統合をお願いしたい。保育園・小学校の保護者全員考えている。
地元から学校がなくなるのは寂しいことだが、子ども達の未来を考えると一日も早い統合を望む。友達をたくさん作り楽しい学校生活を送ってほしい。
- ・学習面では少人数だとマンツーマンで勉強を見てもうメリットがある。
13名の児童一致団結頑張る姿や一生懸命な姿は伝わるが、下級生が上級生をみならう姿や、高学年が低学年を引っ張る力に疑問。今は上下関係がなく、社会に出た時に影響しないか不安。
- ・もう少し早くこのような場を設けてほしかった。
少人数なので競争心は衰えている。同性同士・仲間同士の会話・相談の場がなかなか無いことが親として心配。女子1名の学年もある、早い統合をお願いしたい。
- ・昨年4月から1年かけて保護者が話し合い、出した結論を尊重したい。
地域として、学校がなくなると地域が衰退するのではないかと懸念。学校があることで学校行事に地域が参加できた。
ただ子どもが主役、子供の将来を考えて地域が協力しなければ、中学・高校・社会に出た時に保護者は心配。子どもの事を考え地域も協力したい。
- ・小さい学校にしかできない良さ、大きい学校ではできない良さがあった。
程度は昔と今は違い新たな問題が出てきているが、小さい学校に来てもらう方法はないか。小さいなりに地域にとって学校と保育園は心の拠り所である。
地域としては学校を残して欲しいが、現状は人数が少なく保護者の負担は大変だと思う。統合の話が出始めて、来年以降入園の保護者たちが不安を感じている。
- ・賛成とか反対とかではない。校長先生の説明では小規模校だからできる良さがあるとあった。団体競技サッカー等は他校と交流して行えないか。実際どうなのか。
- ・現在野球・サッカー等の球技は行なっていない。できない。キックベースを变形したニュースポーツの一種を1年から6年まで一緒に行なっている。1・2年生ができるように、高学年はおもいきりできないと思う。

保護者負担は、交通費負担が他校と比べて割高になる。児童会は図書美化・放送の2つの委員会。清掃は1人1教室。特別教室は週1回のみ実施。

- ・以前と状況はほとんど状況が変わっていない、卒業生1人の時があった。市川小学校との統合話が出て、岡山小学校の将来を考える時期があった。もう少し早い時期にこの懇談会を行いたかった。
- ・小規模校のマイナス面もあるが、子ども達にプラス面も多いことを加味しながら考えて欲しい。学校統合は時間の問題だと前々から思っている。この学校にることによってプラスになっている面がある。中学校でも岡山小の子どもが劣るとは一つも聞いていない。保護者と地域の間に溝ができないようにこの問題を考えて欲しい。
- ・地域として、卒業生として母校がなくなるのはさみしい。地元に戻り、親になり、学校のこと地域のことがより一層好きになり、考えるようになった。親が子供の事を熱く優しく一番考えている。大きな学校と統合して万事うまく行くとはいわない、不安も大きいが子供の事を考えると、大きい学校に行くのも一つの方法。
- ・学校での子ども達の様子を見ると、小さい学校ならではの良い教育をしていると感じている。そういう良さを残した統合を望む。例えば、戸狩小と統合しても岡山の子どもたちが岡山の人達と触れ合う場があればいいと思う。
- ・統合することにより改めて、自分の住んでいるところの良さがわかると思う。地元への思いがより一層深まるものとなってほしい。
- ・これを機会にお互い歩み寄りながら前へ進んでいきたい。
6年後に飯山市の児童が880名になる。先生と子どもが本音で語れる規模が適正だと思う。将来、学校をいくつにするのか教育委員会として中・長期的な計画を示してほしい。
- ・上境・温井・羽広山はすでに戸狩小学校へ通っている。
この先統合は致し方ない。早く踏み込んで統合の話を進めたほうが良い。
年に何回かは岡山小の学校で授業をやってみるとか、ここに学校がなくても寂しくないようになってほしい。

教育委員会：この場で方針を決めるのではなく、本日はみなさんの忌憚のないご意見・気持ちを出していただいた。お互いの意見を聞いて歩み寄りながら、納得の出来る方向をこれから考えていきたい。